

北海道花き振興協議会（北海道）

協議会構成団体：北海道花き生産連合会、北海道鉢花生産組合、北海道ばら研究会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道芝生生産者協同組合連合会、(株)札幌花き地方卸売市場、日本花き卸売市場協会北海道支所、札幌花き園芸(株)、(はまなす花き(株)、北海道植物(株)、(一社)全国花卸協会東北・北海道ブロック札幌支部、北海道生花商協同組合、北海道フラワーガーデン協会、北海道園芸商同友会、日本ハンギングバスケット協会北海道支部、北海道いけ花連盟、北海道教育庁、北海道

戦略品目

切り花：スターチス、カーネーション、ゆり、デルフィニウム、ひまわり
鉢もの：シクラメン、ポインセチア
花壇用苗もの：ニューギニアインパチェンス、カリブラコア

< 取組内容 >

1 生産供給体制の強化

・ニーズが見込まれる夏～秋の花壇用苗ものの生産拡大に向け、ニューギニアインパチェンス・カリブラコアの北海道における耐光性・耐暑性・耐湿性品種の特性や適性を把握する。

・平均気温・降水量が平年を上回る気象条件において、露地植えで夏越し可能なニューギニアインパチェンス11品種、カリブラコア3品種を選定した。



ほ場の様子



ニューギニアインパチェンス



カリブラコア

2 流通の効率化・高度化

・切り花の夏期の本州への出荷において、複数産地が共同した混載輸送を行った際の品質への影響とコスト低減効果を調査する。
・冬期の鉢物の出荷時に現状の棚板輸送から通い台車に変更した際の生産者・運送業者の労働時間とコストの削減効果を調査する。

・北海道から大阪への長期輸送において、複数産地の混載を行っても、品質への影響はなく、積載率が3.7%向上し、コスト低減に資することがわかった。
・棚板輸送と台車使用輸送を比較し、1日当たり1時間35分の労働時間の削減ができたことから、コスト低減に資することがわかった。



棚板輸送の様子



台車輸送の様子

3 需要の拡大

・日常的に花きを楽しむ人を増やし、花きの消費拡大に繋げるため、公共施設や病院等での展示、男性をターゲットにアレンジメント体験、飲食業界と連携した取組を実施
・道産花きの魅力を一般消費者に伝えるため、小学校や児童会館、福祉施設、高齢者施設などで花育や園芸体験による花きの活用促進の取組を実施。

・9箇所で花き展示PRイベント、生け花の実演イベント、男性向けアレンジメント体験を実施し、事業実施後の生花店へのアンケート結果では、花き販売額が増えた店舗が24%であった。
・合計4,600名が花育・園芸体験を行い、参加した児童の保護者等へのアンケート結果では、花育体験後、花き購入頻度が増えた家庭は26%であった。



札幌市地下歩行空間での展示



男性向けアレンジメント体験

< 今後の取組予定 >

- ・花壇用苗ものの特性等調査については、品目・品種を変え、鉢物の輸送試験については産地を変えて実証を行い、同様の効果が見込めるか検証する。
- ・省力化に向けたハウス自動開閉装置による実証と、収穫後の冷蔵保管による出荷時期の調整等による需要期における安定供給に向けた実証を行う。
- ・引き続き、各種展示やアレンジメント制作体験、花育等を実施し、需要拡大と道産花きの認知度向上を図る。